

四国びと対談

価値観では見えなかった新しい四国の姿が見えて ワードで、 きました。「地域」「人」そして「未来」。3つのキー 四国について聞いてみました。 四国びとのものさしで見渡してみると、今までの お2人の四国びとに、私たちが暮らす

大南一私の関わりは1990年ころから。戦前に日 成田|まずは「地域」について、お2人が地域に関 わるきっかけを教えてください。

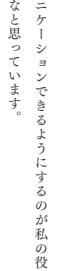
米親善の印として贈られた青い目の人形を米国 なら、最初から将来を見据えて関わろうと。 山に作ることになって、いずれ地元で管理する きっかけでした。その後、県の国際文化村を神 へ里帰りさせようという国際交流の取り組みが

4、5年前くらいですかね。 ことによって、地域が動き始めたと感じたのが 者を受け入れたり、サテライトオフィスを誘致 ちに、いろんなことが見え始めたんです。移住 やって国内外のアーティストを神山に招くう そこで年に一度アーティストインレジデンスを したり、いろんなクリエイティブな人が集まる

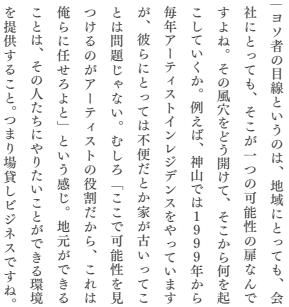
真鍋|私は高松育ちで、東京の大学に進学後、10年 思って、いろいろやっています。 電車や駅、工場の新しい価値を発見したいなと でライブやお茶会、婚活パーティをやったり。 スを工場の中でやったり。あるいは電車の中 真集を出したり、映画を撮ったり、 地元の若いクリエイターたちと、修理工場の写 私はむしろ鉄道のこれからに関心があったので、 での歴史を振り返るところなんでしょうけど、 3年目に、ちょうど琴電開業100周年を迎え になってくるのではないかと。高松にもどって て、今まではモータリゼーションの中で沈んで 鉄道会社の再生に携わることになり、父と相談 まして。普通なら百年史を作ったり、これま しているうちに、鉄道に可能性を感じて。鉄道っ くらい東京で働いていました。その後、実家が いた業界なんですけど、これからはむしろ重要

神山アーティスト・イン・レジデンス (KAIR) の作品 カリン・ヴァン・デ・モーレン (オランダ)「Moon dome」





割



真鍋

鉄道会社は、

的に安全を絶対的な使命とし

さや便利さ、見た目のかわいらしさだったり、

い感じだったり。

そういう普通の人の目線を、

ードバックして、

まちの人とコミ

ているんですよね。だから厳格なところがある。

一般の人が鉄道に求めるも

のはむしろ快適

その際に心がけていることはありますか。

成田

一真鍋さんは、

経営陣という立場から、

組織の

い取り組みをされてい

中で様々

それって小さな地域の強みですよね。

算は?スケジュー

ルは?みたいになっちゃ

う。

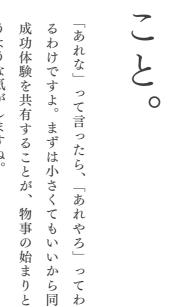
大南

あるからでしょうね。

逆に都会では、

って意外と難し

何をするにも予



真鍋 一その同士はどうやって集めるんです ような気がしますね つ

大南

を持

った人間を集めることです。

一まず同士を集めること。最初は5人位、

同じ思

1)

成田|お2人が、地域で何かを始める時に大切にして

を共有す

る

ま

大南 一最初はノリですね いですか。 な事できたら夢があるよな なのは 「楽しい」 って思えるかどうかじ と面白い 最初に人を動 よな、 や な

てことになる。

でもみんなが体験していたら、

真鍋

一すばらしい

(笑)。

きっと土地としてのつなが

に言葉で伝えられることはほとんどなくて、

「とにかくええんよ」って言っても、「何が?」っ

らないことは周りにも伝えづら

こういう時 自分しか知

ば、あれや

ってみようと話した時に、

くてもいいので成功モデルを共有すること。

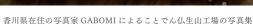
例え 小さ



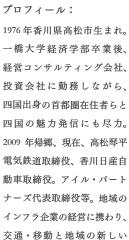
ことでん仏生山工場で行われた「100年サーカス」

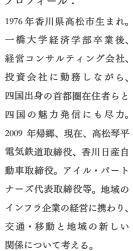
レトロ車両を貸し切って行われた「パブトレイン」

気鉄道取締役













プロフィール: 1953 年徳島県名西郡神山町 サテライトオフィス誘致な どユニークな事業を展開。 クリエイティブに過疎化をさ せる「創造的過疎」を持論に、

多様な人が集う「せかいのか

みやま」づくりを進めている。

真鍋 大南 真鍋 | 今は一人ひとりが一つのメディアだと思 一今は個人の情報収集能力が格段に上 一今、四国中でいろんな形で情報発信が行わ て発信すれば、小さくてもビンビン響く。 誰に何を届けるかで結果が変わってくる。 同じ。こういう人に来てほしいと意思を持っ 「みんな来て下さい」という場所には誰も来 中の人が四国に来ても困るでしょ?本当は がいたら、ソーシャルメディアで、その周 うんです。 たくない。それは観光も移住も企業誘致も う意識が強いと思うんですよ。でも、日本 れていますが、みんなに知ってもらおうとい ピンポイントで情報を届けられるからこそ、 りからじわじわと情報は広がっていく。 たった一人でも面白いと思う人

大南 一例えば、移住希望者でなくても、地元の暮は結構いるわけですよ。観光化された情報ではなく、もっと生活そのものの中に、まるで親戚みたいな気持ちで入っていけるよう

情報の深さですね。

がっていますからね。そこで必要なの

まんべんなくというより、

むしろ

と思うんです。でも、インターネットで来られたら、さすがに困りますよね。てくれる人やつないでくれる場が重要にてくれる人やつないでくれる場がで紹介してると思います。

情報は最大の資産になるでしょうね。真鍋一四国にはいろんな人がいますから、その

不満やギャップはありませんでしたか。の人を四国に招き入れる中で、そうしただ印象が薄いと言われます。お2人が外成田 ― 一方では、外から見ると、四国はまだま

真鍋|神山がまさにそうですね。

大南一四国はお遍路さんの影響も強いと思い大南一四国はお遍路さんの影響も強いと思いた。 あれは焼山寺の場所が慣れていました。 あれは焼山寺の場所がこちらから「お困りですか?」って声をかけたり。 お接待というだけじゃなをかけたり。 お接待というだけじゃなをかけたり。 お接待というだけじゃなってっる。 これは四国の偉大な資産だとですね。これは四国の偉大な資産だと

はありますか?
もっとこうしたらいいのにと思うこと報を発信するのは「人」。そのために、

大南一たぶんこれから必要になるのは、カフェやパブ機能。コーヒーやお酒を飲む場所やパブ機能。コーヒーやお酒を飲む場所です。例えば、誰かが成田さんな、つかうことに興味があるから、この人に会っておいた方がいいよということで、に会っておいた方がいいよということで、

けばいいのではと思いますね。よと。そういう土地を四国は目指していあなたが見つけたものが最高の価値です

真鍋 | モノが少なかったり、人が少なかったり、真鍋 | モノが少なかったり、人が少なかったり、 を見つけやすいとも言えます。例えば、 自分がアーティストで作品を発表すると したら、東京のギャラリーで見せるより も、神山で発表することで、より作品が

大南一私は、旅っていうのは「光」を見に行く大南一私は、旅っていうのは「光」を見に行っていると思うんです。都会にいたら、自分のやったからやみくもにパンチを出して疲れてだからやみくもにパンチを出して疲れてたからやみくもにパンチを出して疲れてもまう。ところが、四国にいると、パンチの効き具合がよくわかる。

真鍋 | 思わぬところでカウンターが入ったり。 塩りになってたり。都会では絶対にあ かれたり、いつも行く食堂の定食が大 のおばちゃんから、「あんた が料理屋のおばちゃんから、「あんた



まちの背骨を受け継べ 、ということ

成田 | 東京から見ると、四国のGDPは日本の だなあと実感できましたね。 見えませんが、四国のものさしで見れば、 向けてどう進めばいいかも見えてくるん っと前向きな評価ができるし、未来へ 人口も3%弱、そんなふうにしか

成田 大南 | 中国では、「危機」の字の中には、チャン 一問題が多ければ多いほど、 スと言う文字が入っていると言われます 大事なものが提供されると思うんです。 がブレイクスルーを起こす中で、きっと 人たちが過疎地をどう解釈するか、彼ら ないけども、いろんなクリエイティブな クしませんか。限界集落万歳!とは言わ 造の場になり得ると思えば、逆にワクワ ンティアな場所でもある。新しい価値創 の機は、「機会」の機でもあると。 ある意味フロ

> 真鍋 | そういうものを解決するアイディアや知 恵は、多様な人たちが出会うことでし の人が自由に出入りできる境界のな てきて驚いたのは、いろんなジャ 生まれないと思うんですね。高松に帰 業種交流の場所になっているんです。 コミュニティが多いこと。まち自体が異

大南 一私なりに言い換えれば、これからは循 は同じように続いているだろうなって、 はいないけど、きっとこのトラットリア を手伝っている。20年後、おそらくマンマ ていて、その横でお父さんの妹が料理 厨房では、いわゆるマンマが料理を作 店の端では、子どもがお母さんと遊んでる。 イタリアのある町でトラットリアに入っ 環型のモデルが必要だということです。 たとき、ウエイターは若いお父さんで、

> ること一つ一つの意味も変わってくると思 循環という背骨が見えれば、今起こってい でも今の四国にはその循環が見えない。 パッと見て世代の循環が見えるんですよね。 うんです。

真鍋 くっていくということでしょうか? その背骨は、受け継がれていく価値観が

大南一 背骨を作っていけば、自ずと個性が生まれ、 るでしょ。各々の地域が、自分たちの塩梅で 多様性にもつながっていくでしょう。 さんは独特の感覚で高松の塩梅はわかってい 一番よく知っていると思います。たぶん真鍋 その塩梅は、その土地に住んでいる人間が

成田 一背骨を継承するとは、具体的にはどうい ことだと思われますか?

真鍋一まず、 し合うことでしょうね。 自分たちのまちの何が背骨 言わば、 まちの かを話 記









あって、 思います。 そういう話を知っておくのは大事だと です。そのままやるのではないけど、 まちの歴史を聞く機会がすごく多いん のお年寄りに折に触れて会う機会が 憶を受け継ぐこと。私の周りには、地域 昔の高松はこうやったとか、

大南 一まちのDNAを引き継いでいく時、今 残すかにフォーカスすれば、 思います。誰が残すかではなく、何を 移住者にも加わってもらったらいいと けれど、今後それが難しいなら、私は までは血縁地縁の者で受け継いできた 大事なものが見えてくる。 おのずと

> 成田一先ほどの話に戻ると、四国は小さいと 小さいからこそのメリットもあると。 いうデメリットが強調されがちだけど、

真鍋 | 何万人住んでいても、1人の人間が付き ずに、ばらけているところが、 高松でも、神山でも、たぶん同じくらい ちの良いとこかなと思います。 んですよ。それが同世代、同業種に偏ら の規模感で、 合える人数は限られていて、東京でも、 人って生きてるんだと思う 小さなま

成田 真鍋 | 私は特に若い世代と話す機会を作るように 一最後に、このような四国のものさしを、 今後どう広げていったらいいと思いますか。 しています。特に高校生くらいになると、日々



大南一世の中は、関心のない人がいるから正常な 後に現れるくらいの気持ちなわけですよ。 白くない(笑)。今すぐ変化が現れるという これからも四国らしいペースで取り組む方が しない。これまでスローできたんだから、 になる。それを見られるか否かは問題に やり続けていれば、いつかは必ずいい状態 よりも、もっと大きな変化は自分が死んだ なが賛成してくれるようなことはたぶん面 んだと、逆に私自身は考えています。みん やっぱりダイレクトに話をするのが大事ですね。 たつもりでも、全然伝わってなかったりする。 接している情報源が違うので、こちらは伝え いものができる気がしますね